

貯水槽点検のポイント

	点検項目	チェック
水槽周囲の状態	1 点検、清掃、修理等に支障のない空間が確保されている。 2 清潔であり、ごみ、汚物等が置かれていない。 3 たまり水、湧水等がない。	
水槽本体の状態	4 内部の点検、清掃、修理等に支障のない形状である。 5 亀裂箇所、漏水箇所がない。 6 雨水等が入り込む開口部や接合部のすき間がない。 7 水位電極部、揚水管の接合部は、固定され防水密閉されている。	
水槽上部の状態	8 たまり水ができない状態であり、ほこりその他衛生上有害なものが堆積していない。 9 水槽のフタの直接上部には、他の設備機器等が置かれていない。 10 上床盤の直接上部には、水を汚染するおそれのある設備、機器等が置かれていない。	
水槽内部の状態	11 汚泥、赤さび等の沈殿物が異常に存在していない。 12 槽内壁や内部構造物の汚れ、塗装の剥離等が異常に存在していない。 13 清掃が定期的に行われていることが、明らかである。 14 外壁塗装の劣化等により光が透過する状態になっていない。 15 当該施設以外の配管設備が設置されていない。 16 受水口と揚水口が接近していない。 17 水中及び水面に異常な浮遊物質がない。	
マンホールの状態	18 フタが防水密閉型のものである。 19 ほこり、その他衛生上有害なものが入らないものである。 20 点検等を行う者以外の者が容易に開閉できないものである。 21 マンホール面は、槽上面から衛生上有効に立ち上っている。 22 フタにさびがないこと。	
オーバーフロー管の状態	23 管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない状態である。 24 管端の防虫網は確認でき正常である。 25 管端の防虫網の網目の大きさは小動物や虫等の侵入を防ぐのに十分なものである。 26 管端部と配水管の流入口等とは直結されていない。 27 管端部と配水管流入口との間隔は逆流防止に十分な距離である。	
通気管の状態	28 管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない状態である。 29 管端の防虫網は確認でき正常である。 30 管端の防虫網の網目の大きさは小動物や虫等の侵入を防ぐのに十分なものである。 31 通気管として十分な有効断面積を有するものである。	
水抜管の状態	32 管端部と配水管の流入口等とは直結されていない。 33 管端部と配水管流入口との間隔は逆流防止に十分な距離である。	
給水管等の状態	34 当該施設以外の配管設備と直結されていない 35 水を汚染するおそれのある設備の中を貫通していない。	